

くまの 議会だより

Mazda
ZOOM-ZOOM
スタジアム広島

輝け！熊野町 スポーツ少年団

熊野レンジャーズ
スポーツ少年団
(関連記事 P15)



令和元年
10月臨時会
12月定例会

筆の都くまの

熊野町観光大使
ふでりん



主な内容

- かけがえのない町の将来を
議員定数条例の一部を改正
- ズバリ町政を問う！

第113号
2020.2.1

熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧ください

発行 ● 熊野町議会 〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号 TEL(082)820-5630 FAX(082)855-4520
議会の情報は、熊野町ホームページから。 <http://www.town.kumano.hiroshima.jp> E-mail:gikai@town.kumano.hiroshima.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

かけがえのない我が熊野町の

将来を厳ぐチェック!

気になる6件をピックアップ

10月臨時会(10月28日開会) 町から議案1件
12月定例会(12月10日開会) 町から報告2件・議案12件、議会から発議2件
 (数値については表記単位未満を四捨五入しています)

【臨時会】

熊野町防災行政無線デジタル化 整備工事請負契約を可決

現行のアナログ電波による防災行政無線システムをデジタル電波に更新するための工事請負契約の締結。最新のシステムを導入することで、迅速な避難情報等の発令・発信が可能となる。

○請負金額 3億7840万円

【定例会】

「いのちをつなぐ手話言語条例案」を可決

手話が言語であるという認識に立ち、手話への理解と普及に関し基本理念を定めるとともに、町・町民及び事業者の責務・役割を明らかにし、ろう者を含むすべての町民が「お互いに尊重し合い、誰もが自立し健やかに暮らせるやさしいまちづくり」の実現に向けた施策を推進していく条例を制定した。

「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案」を可決

法律改正により、会計年度任用職員制度が新たに導入され、特別職非常勤職員及び職員の臨時的任用が厳格化されることから、関係条例の改正を行った。

「改正する主な条例」

- 熊野町職員定数条例
- 職員の分限に関する手続及び効果に関する条例
- 職員の懲戒の手続及び効果に関する条例
- 職員の給与に関する条例

「熊野町道路占用料に関する条例の一部を改正する条例案」を可決

条文内の消費税率を、現行の消費税率に改め、税率改定日の本年10月1日に適及し適用する。また、省令改正に伴い、道路占用料を改定した。

「改正する主な条例」

- 第1種電柱(1本) 年額4400円 ↓ 5100円
- 第2種電柱(1本) 年額6800円 ↓ 7900円
- 第3種電柱(1本) 年額9200円 ↓ 11000円

令和元年度一般会計補正予算(第4号)

歳入・歳出とも1億529万6千円の増額
 総額102億7019万円に

【主な内容】

(歳入) 地方特例交付金、国・県の負担金・補助金、繰入金、町債の増額

(歳出) 総務部門(581万8千円増)：熊野筆情報発信拠点移設整備費、訴訟に係る弁護士費用など
 民生部門(8511万8千円増)：幼児教育無償化に伴う施設等利用給付費、児童扶養手当給付事業など
 建設部門(1687万2千円増)：呉地大池機能診断調査、筆の里工房周辺整備工事など

令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出とも84万5千円の増額
 総額28億1004万1千円に

【歳出の主な内容】

マイナンバーカードを国民健康保険証として活用するためのシステム改修費の増額

主な質疑

ピックアップ①

Q. 視覚障害者に対する避難情報等発信方法の配慮について、どのように考えているか。

A. 電話回線を用いた発信や戸別受信機の充実による対応を検討している。

Q. デジタル化移行後の避難訓練は行うのか。

A. 自治会や自主防災組織と連携した訓練の実施を検討する。

ピックアップ②

Q. 条例制定にあたり広島県ろうあ連盟や手話サークルの方々を行った勉強会の内容について、また、今後取り組む事項について伺う。

A. 3回の勉強会を行い、手話の理解・普及に向けた方法、他市町の条例の研究などを行った。制定後は、手話に関する紹介記事の広報紙掲載、事業者向けのリーフレット作成、聴覚障害者の方が来庁された際に遠隔手話通訳サービスを行うタブレットの導入を検討している。

ピックアップ③

Q. 会計年度任用職員の懲戒処分に対する減給について定めているが、懲戒処分の具休例にはどんなものがあるか。

A. 公金横領、放火、殺人、飲酒運転による死傷事故など、職員の懲戒処分にあたる信用失墜行為、住民に不利益を及ぼす行為などがこれに当たる。

ピックアップ④

Q. 熊野筆情報発信拠点移設整備事業の詳細は。

A. 広島駅ビル内に開設している熊野筆セレクトショップを、ホテルグランヴィアへ移設するための工事費及び店舗開設準備費用。

Q. 児童扶養手当の増額の根拠は。また、支給対象者数は。

A. 手当の支給回数が増え、年3回から6回に法改正されたため、これまで次年度で支給していた3か月分を前倒しで支給することとなったもの。対象者は現在約170人で減少傾向にある。

ピックアップ⑤

Q. 児童福祉施設入所委託事業の内容は。

A. 母子自立支援施設入所委託料の単価改正等により120万円を増額した。現在1世帯が入所している。

ピックアップ⑥

Q. マイナンバーカードの交付枚数と交付率は。

A. 現在3800余枚、約16%。

Q. マイナポイントのID登録設定などに対する住民周知や職員研修を行っているか。

A. 町の広報紙、ホームページや町内イベントでブースを設け周知する。職員研修についても関係各課で連携し、準備を進めている。

※マイナポイントとは
 マイナンバーカードを所有している人が、キャッシュレス決済で買い物した際に、ポイントを付与する制度

熊野町議会議員定数条例の一部改正を可決《概要》

次回の一般選挙から 議員定数が 16 人から 14 人へ

- 1 開会
 - 2 審議停止の動議提出 (※1)
 - 3 「審議の停止」を議題とする。賛成者少数により否決
 - 4 発議者から条例案の趣旨説明 (※2)
 - 5 質疑 (※答弁は発議者)
 - 6 討論
 - 賛成①
 - 賛成②
 - 賛成③
 - 賛成④
 - 反対①
 - 反対②
 - 7 採決 (賛成者起立)
 - 賛成 山野、民法、時光、竹爪、尺田、中島、光本、福垣内、水原 (9人)
 - 反対 中原、山吹、荒瀬、片川、沖田、諏訪本 (6人)
- ※採決は議長を除く

発言の内容・説明

※1 「審議の停止」の理由
議会改革については、8年間にわたって特別委員会が協議し、当面は現状のままとする報告書を提出している。今回突然に、最終報告時の委員長が発議された。これが議案になることは、議会制民主主義が成り立っていないことになる。
新しい議員4人への情報提供を含め、全議員で共通認識を持つため、まず特別委員会で協議すべきだ。16人の議員定数を14人とする条例案に、発議者を含め9人の賛成者が署名して議長に提出した。目的：少子高齢化が進み、人口も2万4000人を切った。IT時代であり、地域選出でなく町選出議員だけでも議会は機能する。また、災害復旧への時間の確保や財源が必要である。

質問① 8年間協議した特別委員会で、人口が2万人を切ったら考えるところを、なぜ、今提案するのか。
前削減した時は発議に対して1年間近くかけて調整した。今回は強引過ぎる。数さえええればなんでもやるのか。
最終報告は、自分の趣旨とは異なっていたが、委員長として現状維持でとりまとめた。今回は、新人議員や他の議員の声を踏まえて発議した。特別委員会を経なくても発議はできる。議員の役割、信念で行動している。人数でやっているとされるのは心外だ。一部の議員とだけ進めるのは議会制民主主義に反する。一度は全員で話し合っべきだ。

質問② 《答弁》 話をしなかった6人の議員には、これまで何度も意見を聞いていた。合意には達しない。議員定数を14人とする根拠や目的が見えない。経済的理由なら工夫すれば良い。常任委員会が十分機能していない現状での定数削減は、議会の委員会が不要になる。議員も研鑽して、14人に対応できる。常任委員会も工夫すれば良い。経費を削減して事業費に充てる。先の特別委員会の委員長として議会報告、町民へ周知したこと今回の発議は真反対の内容だ。特別委員会をどう考えているのか。人数さえええれば特別委員会で協議する必要がないのか。なぜ、今回発議されたのか理解できない。人数さえええれば特別委員会で協議する必要がないのか。なぜ、今回発議されたのか理解できない。私個人は削減を考えていた。表裏一体になったとは思っていない。

質問③ 《答弁》 最終報告で「人口が2万人を切れば再度熟考する。また、人口維持に努力しながら若い世代を育てていく。」としていたが、その努力をしないまま、なぜ今回の発議なのか。議員軽視だし、特別委員会はなんだったのか。少子高齢化が進み、社会保障費が増大、災害復旧等々が町財政を圧迫している。町当局も行政改革に取り組んでいるが、議員も身を切り、研鑽することにより議会改革を進めたい。議会の役割を果たす上で、マイナス要因は避けるべきだ。経済的な理由なら我々の給与を減らせば良い。

質問④ 《答弁》 反対① 最終報告で「人口が2万人を切れば再度熟考する。また、人口維持に努力しながら若い世代を育てていく。」としていたが、その努力をしないまま、なぜ今回の発議なのか。議員軽視だし、特別委員会はなんだったのか。少子高齢化が進み、社会保障費が増大、災害復旧等々が町財政を圧迫している。町当局も行政改革に取り組んでいるが、議員も身を切り、研鑽することにより議会改革を進めたい。議会の役割を果たす上で、マイナス要因は避けるべきだ。経済的な理由なら我々の給与を減らせば良い。

賛成① 賛成②

あなたが、気になる「質問」はありますか？

質問議員8名 質問10項目

町政を問う

皆さんの「へんじ」にかかわることを、議員が質問をしました。

子育て支援・教育	道路・交通	産業・観光・まちの魅力	安心・安全	その他の町行政
P6 保育料無償化で変わったか くまの・こども夢プラザを 熊野版ネウボラの拠点に 山野議員	P7 バス利用者駐車場の管理等は 熊野トンネルの無料化に伴う 県道等の整備計画は 竹爪議員	P8 厳しい状況下で熊野筆(書筆)を どのようにして継続するか 諏訪本議員	P9 復旧補助金制度等の公開は 住民サービスの充実を 沖田議員	P10 都市計画マスタープランの新埤線構想は 男女共同参画の推進を 沖田議員

※ 紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。
また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。
なお、熊野町議会のホームページ (<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>) から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

(注1) 熊野町議会議員定数等調査検討特別委員会最終報告は、「議会だより 107号」へ掲載してあります。
(注2) 詳細は、熊野町議会のホームページの議会中継をご覧ください。会議録については作成中です。

子育て支援教育



山野千佳子 議員

保育料無償化で変わったか

〈民生部長〉

10月から待機児童が5人発生。12月では10人となった。

〔Q1〕 保育料の無償化が始まり、待機児童は増えたか。

〔A1〕 無償化が理由ではないが、育児休業明けの入所児童が8人増。9月まで待機0だったのが、10月に5人、12月では10人となった。

〔Q2〕 待機が生じているが、その要因は何が考えられるか。

〔A2〕 女性の社会進出や、早く職場復帰したい傾向があり、0歳〜2歳の入所希望が増えている。

〔Q3〕 待機0には施設の定員増の必要があるか。

〔A3〕 昨今、育児休業からの職場復帰が早く、0歳児は保育基準が厳しいため、年度途中の保

育士確保が困難なので難しい。

〔Q4〕 保育士確保に他市町は色々な補助金を出しているが、支援策はあるか。

〔A4〕 今後は他市町の動向などを見て、研究・検討する。

〔Q5〕 無償化により、保育料の便乗値上げが社会問題となっているが、町内の調査はされたか。

〔A5〕 この度は値上げはなかったが、もしあれば町が指導していく。



中島数宜 議員

道路交通

バス利用者駐車場の管理等は

〈町長〉

広島県が造成・施工し、昭和60年4月供用開始後は、県と町で管理等を役割分担している。

〔Q1〕 放置車両が多いのではないかと。適正利用に向けた対策を考えているか。

〔A1〕

放置車両が見つければ県が張り紙等により所有者に撤去を促し、それでも移動がない場合には警察に相談し、対応していると伺っている。町においても放置車両を発見した場合、県に順次報告している。

〔Q2〕

常に満車状態で、入り口道路にも駐車している。目的外の駐車があるのではないかと。その対策は。

〔A2〕

バス利用者の乗り継ぎを目的とした看板を3カ所設置しているが、新たな追加看板の設置と、駐車場のパトロールを適宜実施し、該当

車両を発見した場合には県に報告する。

〔Q3〕

定期的に清掃を実施しているとのことだが、その頻度は。ごみも散乱し、落ち葉等で側溝が埋まっている。定期的に清掃しているように見えないが。

〔A3〕

月1回程度、町の臨時職員により定期的に清掃を実施している。しかしながら、平成30年7月豪雨の対応で、草刈り、側溝清掃、竹木の伐採等ができなかったため、現在実施中。

〔Q4〕

駐車スペースを示す白線が消えている。区画線の引き直しができるか。

〔A4〕

要望があったことを管理主体の県に伝える。



光本一也 議員

くまの・こども夢プラザを熊野版ネウボラの拠点に

〈町長〉

夢プラザを中心に、子育て支援の充実を図る。

〔Q1〕 夢プラザを子育て世帯包括支援センターとして位置づけ、母子健康手帳の交付を。また、夢プラザに子育て経験豊かな保健師の配置を。

〔A1〕

「ひろしま版ネウボラ」では、中学校区毎に拠点を置き、子育ての相談窓口を設けることとなっている。「熊野版ネウボラ」を推進するためには、保健師、保育士など専門職のセット配置は欠かせないものと考えます。ネウボラの拠点となる夢プラザに保健師を配置し、母子健康手帳の交付を行いたい。

〔Q2〕

戦略的広報でネウボラ事業の住民周知を。

〔A2〕

子育てガイドブック

の内容の拡充と併せ、より多くの方の手に渡るよう配布方法を検討する。ホームページへの掲載もしつかり行う。スマホアプリの「こふでりんLINE」には、子育てに役立つ情報を適宜届け、多くの子育て世代の皆さんに登録いただけるよう啓発に力を入れていきたい。



▲くまの・こども夢プラザ

※ネウボラとは 妊娠から出産、子育てまでを切れ目なく支援する仕組みです。フィンランド語で「アドバイスする場所」を意味します。



竹爪憲吾 議員

熊野トンネルの無料化に伴う県道等の整備計画は

〈町長〉

本町も含めた関係機関において円滑な移管が行えるよう対策を進めている。

〔Q1〕

令和2年12月の熊野トンネル無料化に伴い、町内の道路整備計画は。

〔A1〕

一時中断されている川角交差点東側の県道矢野安浦線の拡幅が再開され、また、熊野郵便局付近から県道瀬野呉線につながるバイパス部分も再開される。

〔Q2〕

トンネル通過後、海田大橋付近までの道路整備の予定は。

〔A2〕

交差点改良や信号の時間調整等が行われる予定で、熊野町方面から海田大橋方面へのオンランプは既に整備され、暫定供用している。

〔Q3〕

具体的にどの交差点が、どのように、いつまでに改良されるのか。

〔A3〕

海田大橋入口交差点の海田方面への右折レーンが二車線に増設され、平谷交差点、熊野から最初の土居交差点、矢野駅入口の小越交差点では、信号の調整が行われる。

〔Q4〕

阿戸別れ交差点、町民会館入口交差点の改良計画はどうなったか。

〔A4〕

計画はあるが災害復旧優先で中断されている。早期の着手を働き掛けたい。

〔Q5〕

無料化後、トンネル内や周辺の管理は。

〔A5〕

管理事務所は閉鎖され、県や市が一般道路として管理し、業者委託で維持管理される。

産業
観光
まちの魅力



諏訪本 光 議員

Q 厳しい状況下で熊野筆（書筆）を
どのようにして継続するか

A <町長>

筆組合や事業関係者と諸課題を共有し、
行政としての責務・役割を果たす。

〔Q1〕 行政の責務・役割を
果たすということは、
筆組合等と情報交換を
行い、場合によっては、
アドバイスや国への働
きかけを行うと考える
良いか。

〔A1〕 筆組合の活性化につ
ながる情報提供や、国
への申請支援などを
行っていく。

〔Q2〕 後退的局面と言われ
る筆産業界で、筆組合
の事業が更に縮小され
ているが、筆組合主導
の考え方で大丈夫か。

〔A2〕 長年のノウハウを有
する筆産業界の課題へ
の対応や活動を期待し
ている。効果的な提案
には財政支援も実施し
たい。



町行政と筆組合、事業関係者が一致団結！
「日本の伝統文化」を継承しよう。

〔Q3〕 町は、筆文化の継承
に軸足を置いていると
のことだが、全国的な
展開が必要ではないか。

〔A3〕 「芸術系大学交流研
修会」や「ちよっと大
きな絵てがみ大賞」な
ど、全国的な取り組み
もある。提案の全国書
画展の巡回展示につい
ては、同展事務局で検
討されるものとする。

〔Q4〕 筆の里工房周辺整備
の中に、専門的技術職
人を集め、仕事と合わ
せて、後継者の育成を
図ってはどうか。

〔A4〕 今後、様々な意見を
いただきながら、熊野
筆や筆文化の魅力を活
極的に発信していける
よう検討する。

安心
安全



水原 耕一 議員

Q 避難行動要支援者名簿のあり方と
支援は

A <民生部長>

行政だけで全ての支援は無理、地域で避難体制
を構築し名簿を活用してほしい。

〔Q1〕 要支援者の方や家族
の方が、避難場所に行
くのは、逆に迷惑をか
けるので、避難しにく
いとの声がある。どう
考えておられるか。

〔A1〕 避難場所は快適な環
境ではないが、命を守
る緊急避難なので、遠
慮なく避難してもらい
たい。

〔Q2〕 町内の福祉介護事業
所などと連携をとり、
災害が起きる前の福祉
避難場所の、環境整備
を進めてもらえないか。

〔A2〕 町内3つの社会福祉
施設と協定を締結して
いる。要支援者の確実
な避難につながるよう
進める。

〔Q3〕 要支援者名簿は、郵
送でのアンケート調査
で登録するが、何らか
の理由で、載っていない
要支援者の支援はど
うするか。アンケート
調査の回収率も合わせ
てお聞きしたい。

〔A3〕 自主防災組織や、近
所の方々のコミュニ
ケーションで把握し、
支援して欲しい。今年
度の回収率は、65.1%だ
が、多くの関係者の方
に声掛けを依頼し、回
収率を上げていきたい。

〔Q4〕 外国人の方々の避難
支援のため、ハザード
マップを基にして、何カ
国語で書いたリーフレッ
トを作ったかどうか。

〔A4〕 ハザードマップを基
にするなどして、外国
人の方にも、分かりや
すいリーフレットなど
の作成を検討する。

その他の
町行政

Q 住民サービスの充実を

A <町長>

職員の接遇の向上や業務改善の検討などに取り組み、
一層利便性の向上に努める。

〔Q1〕 死亡届提出後には、
ご遺族の方により様々
な手続きを行うが、多
くの担当課を回らなく
てはならないため、町
民からは負担である
との声が多い。今後、住
民サービス向上のため
にどのように改善して
いくのか。

〔A1〕 手続きに來られた方
の状況に沿った窓口の
案内をしているが、各
担当課での対応に時間
を要する場合もあり、
円滑な住民サービスを
提供するため、他市町
の取り組みも参考にし
ていく。



〔Q2〕 海田町ではワンス
トップで手続きを行っ
ており、死亡者の代理人
は、担当課を回ること
なく1つの窓口で座っ
ていれば必要な手続き
をすることが出来る。
住民に負担がから
ないよう、住民の視点
に立ったサービスに努
めていただくよう熊野
町においても実施して
いただきたいが。

〔A2〕 他市町の取り組みを
研究し今後の検討に活
用していく。



沖田 ゆかり 議員



Q <中島 数宜 議員>

復旧補助金等の公開は

A <建設部長>

ホームページや広報紙等でわかりやすい周知を工夫していく。

〔Q1〕 国から補助金を受け
ての災害復旧は具体的
にどんな場合か。

〔A1〕 災害復旧については、
被災した箇所が農地と
して耕作されているこ
とが条件になる。また、
雨量が最大24時間で80
ミリ以上のもの、復旧
費用が40万円以上かか
ること等が条件になっ
ている。

〔Q2〕 復旧費用が40万円以
上であっても補助金の
対象とならないのはど
んな場合か。

〔A2〕 田畑ののり面が崩れ
ているものについて、
耕作面積、貯水機能に
影響がないものは該当
しない場合がある。ま
た、被害の状況によっ
ても変わってくるの
で、地権者の方と現地



実際に復旧された被災
箇所

〔A3〕 広く周知するという
面ではホームページだ
けでは不十分と認識し
ている。広報紙や農区
長を通じて周知する方
法を工夫していく。

〔Q3〕 復旧補助金制度の規
定は複雑で分かりづら
い。分かりやすくまと
め、町民に周知できな
いか。

確認のうえ、ご理解い
ただけるよう丁寧な説
明を心がけていく。

永年にわたる功績により受賞！ 「全国町村議会議長会創立70周年記念表彰」

本議会から、町議会議員として30年以上在職し、地方自治の振興及び住民福祉の向上に貢献してこられた中原裕佑議員と馬上勝登元議員が、全国町村議会議長会会長から表彰を受けられました。受賞おめでとうございます。



中原 裕佑 議員



馬上 勝登 元議員



▲大瀬戸議長から表彰の伝達を受ける中原議員（右）

Q 〈沖田 ゆかり 議員〉 男女共同参画の推進を

A 〈町長〉
さらなる男女共同参画社会の形成促進に努めていく。

〔Q1〕 熊野町防災会議の委員に女性がいないが、国の目標は令和2年までに女性委員を30%以上としている。熊野町においても、平成30年7月豪雨災害を踏まえ、男女共同参画の視点に立った防災復興体制の確立を目指し、防災会議に女性の登用をしていただきたいが。

〔A1〕 平成24年から本来2年の任期ということですが更新されなければいけないが、会議が開催されていないため、委嘱をしていない。近々防災会議を開催するので委員の中に女性が含まれるよう配慮をし、目標値に近づくよう委員の構成も見直していく。

〔Q2〕 男女共同参画の行政担当窓口は、県内23市町の中で教育委員会が担当になっているのは熊野町だけである。男女共同参画については町全体で取り組むべきではないか。



〔A2〕 議員ご指摘のとおりだと思っている。今後、事務組織の在り方を研究し、検討していく。

Q 都市計画マスタープランの新峠線構想は

A 〈町長〉
バイパス事業・災害復旧等の目途が立つ2、3年後には、検討会議を設けて正式に国・県へ要望を上げる。



尺田 耕平 議員

〔Q1〕 新峠線は、平成24年策定の都市計画マスタープランの図の中で明記された、初神地区から安芸バイパス東海田インターチェンジ付近へ新たな幹線道路を建設する構想である。本町では平成17、20年にかけて国や県へ積極的に働き掛け、国が大きな予算を掛けて調査をするところまで漕ぎ着けたと聞いている。何故、平成21年以降働き掛けをやめたのか。

〔A1〕 技術的に実現は難しいと熊野町が判断し、働き掛けは行っていない。

〔Q2〕 東広島バイパスの広島市安芸区中野と海田町の境付近は山に接しているが、そこへ接続した場合、高低差の問題、用地取得費・移転補償費の問題等で町・住民ともに負担が軽減できないと思うがいかがか。

〔A2〕 工事費については試算していないが、移転費用等については、かなり抑えられると思う。

〔Q3〕 私は東京へ行って、直接このことを国土交通省の担当者に聞いたが、「まずは、町でしっかりと意見をまとめる必要がある」とのことだった。絵に描いた餅にならないように、次期総合計画や都市計画マスタープランに文章でしっかりと明記していただきたいが。

ようこそ熊野町へ ～行政視察を受け入れました～

2町の議会が平成30年7月豪雨で被害を受けた熊野町の、防災に関する取組状況や、被災地の復旧状況等の行政視察のため来町され、町担当部及び議長、総務厚生委員長が対応しました。

- 令和元年10月23日（水）
三重県川越町議会
・ 防災対策の取り組みについて
・ 被災地の復興状況及び現地視察について



▲新設した避難路の視察（川越町）

- 令和元年11月21日（木）
三重県朝日町議会
・ 平成30年7月豪雨災害の状況と災害における事前対策について
・ 発生時の避難所運営と現在の復旧・復興状況について



▲被災地の復旧状況確認（朝日町）

調査においては、2町の議会と要支援者への対応、避難所でのペット分離、小・中学校の防災教育、大原ハイツ避難路新設に至った経緯などについて意見交換を行いました。

多世代交流・介護支援の先進地を視察

～観光交流拠点の整備・健康づくりの取り組みに向けて～

総務厚生委員会

11月18日、19日の2日間、先進地の視察研修を行いました。愛知県阿久比町では、筆の里工房周辺に整備予定の観光交流拠点に関し、経済面への波及等調査のため多世代交流施設を、また、愛知県豊山町では、高齢者の健康づくりや介護予防などへの取り組みに資する介護ボランティア制度を視察しました。

阿久比町 ふれあいの森

【施設概要】

遊具のあるワンパク広場や芝生広場、親水広場、デイキャンプ場など、世代を超えたふれあい活動、青少年育成の拠点として町民の多様なニーズに対応する多機能な施設。敷地面積は、約39,000㎡。



▲ ふれあいの森 芝生広場

【施設運営・集客等】

- ・写生大会や梅のもぎ取り大会など、年間を通して10回程度のイベントを企画している。
- ・駅や主要道路から離れているが、地元新聞やケーブルテレビなどにイベントの紹介を依頼することで近隣市町からの来訪者も多く知名度も高い。
- ・町への来訪者が増え、経済効果もある。
- ・維持管理は、その一部をシルバー人材センターに委託している。

豊山町 介護ボランティア事業

【事業目的】

- ・高齢者の社会参加及び地域貢献の支援
- ・ボランティア活動を通じて自らの介護予防及び健康づくりに取り組むことを促進

【対象者】

- ・町内に住所を有する65歳以上で、要介護認定などの該当がない方
- ・説明会へ参加し、ボランティア登録が必要



▲ 豊山町での研修の様子

【事業概要】

- ・ボランティア登録時に、「パスポート」を交付する。これに活動内容等を記録し、活動時間相当分のスタンプを押してもらう。
- ・ボランティアポイントは、30分1ポイントで、1日4ポイントまで。
- ・1年間貯めたポイントを商品等に交換できる。

当委員会では、この視察研修を参考として、筆の里工房周辺に整備される施設については町内外からより多くの利用がなされるよう、また、熊野町における健康づくり、介護予防については有効な取り組みを調査・研究します。

地方議会をとりまく現状や防災対策などを研修

～議会の活性化と地震などの大規模災害への備え～

令和元年度議員視察研修報告

令和元年第6回熊野町議会定例会（9月）において議決された議員の派遣について、令和元年10月16日から18日の3日間、全国町村議会議長会や防災体験学習施設「そなエリア東京」、国会（衆議院）を訪問し、視察研修を行いました。

全国町村議会議長会

本格的な人口減少時代が到来し、社会情勢や地域社会は大きく変わってきています。その変化を把握するため、全国町村議会議長会の三宅達也総務部長から、以下の内容で講義を受けました。

- ①一般質問のあり方（質問の留意点、質問に関する取り組みなど）
- ②町村議会が抱える課題（議員定数については、住民、執行機関、議会の関係はどうか。民意の反映に足る人数か。議員報酬・政務活動費など）
- ③町村議会の活性化・取り組み例
 - ・長野県飯綱町議会：住民の知恵を借りて政策づくりを行う「政策サポーター制度」を創設。
 - ・長崎県小値賀町議会：傍聴者が意見・質問を述べる「模擬公聴会」を設定。



▲ 議会の活性化などについて研修

この講義で、地方議会をとりまく現状について理解を深めました。常に議員一人ひとりが地域住民の代表として、その責務と役割の大きさを強く自覚するとともに、熊野町の現状に沿った議会の活性化に取り組んでいきます。また、「一般質問」についても、住民の意思を行政に反映させる手段の1つであることを念頭に、今後の議会活動を行ううえでの参考とします。

防災体験学習施設「そなエリア東京」

国や自治体などの支援体制が十分に整うまでの目安である72時間（3日間）を、自力で生き残るためにどう行動するべきか、最大震度7の首都直下地震の発生から避難までを体験しました。

▶ 危険箇所を実際に体験



- ①地震による床の震動とエレベーターの緊急停止を体験。
- ②薄暗い通路を避難誘導灯と非常放送に従って出口を探す体験。
- ③被災した街に潜む危険性や街を移動する際の注意点など、危険を回避するための視点を学習。
- ④緊急時をどう生き抜くのか、避難所生活における自助・共助の大切さを実物展示で学習。
- ⑤身近なもので災害を乗り越えるための様々な知恵や情報を学習。

平成30年7月豪雨で被災し、防災に対する意識が高まる中、豪雨だけではなく地震などの大規模災害に備えるため、この研修を今後の熊野町における防災対策を検討するうえでの参考とします。

国会（衆議院）

国権の最高機関である国会（衆議院）において、国会の現状や予算委員会の状況、地方議会の役割等について確認しました。

住民の生活にかかわる重要な法案などに注視し、住民の意思を行政に反映できるよう努めます。

多世代交流施設・空き家対策の先進地を視察

～移住・定住促進等による地域の活性化を図るために～

産業建設委員会

11月18日、19日の2日間、愛知県知多郡阿久比町及び南知多町へ訪問し、行政視察を行いました。詳細については、以下のとおりです。

阿久比町立ふれあいの森 多様なニーズに対応しうる多機能施設の整備

熊野町では、「筆の里工房」を拠点とした観光交流の舞台づくりを行い、誘客の強化を図るため「筆の里工房周辺整備事業」が現在計画されています。

そこで、阿久比町において世代を超えたふれあい活動、青少年育成の拠点として町民の多様なニーズに対応しうる多機能な施設として成果を上げている「ふれあいの森（公園施設）」の整備における取り組み内容や問題点、これまでの経緯等について調査を行いました。



▲ ワンパク広場には、遊具が多数整備され、延長54.8mのローラー滑り台も設置されている

「ふれあいの森」は、広場のスペースが多い開放的な親水公園や遊具を備えた広場、スポーツ施設・研修施設・キャンプ施設等が整っている総合的で多機能な施設でしたが、多額の維持管理費が課題となっています。

当委員会では、この視察内容について意見交換を行い、熊野町が「筆の里工房周辺整備事業」を実施するにあたっては、しっかりと方向性やコンセプトについて検討・協議したうえで施設整備にあたり、福祉関係にも目を向けた施設となるよう要望することを決定しました。

南知多町役場 「空き家バンク制度」の取り組み

近年、熊野町でも高齢化等に伴う空き家が増加し、その対策について検討が必要な状況となっています。南知多町では、空き家や空き地の有効活用と、移住・定住促進による地域の活性化を図るため、「空き家バンク制度」を設け成果を上げており、その「制度の概要及び実績」、「定住人口や地域活性化への効果」など、様々な取り組みの内容や課題等について調査を行いました。



▲ 空き家バンクのチラシ

「空き家バンク制度」とは、空き家等を売りたい人と購入（賃貸）希望者の要望を町で聞き、空き家所有者に購入（賃貸）希望者を紹介する制度のことです。

南知多町はこの制度を積極的に実施している自治体で、移住・定住人口の増加、空き家率の低下、地域の活性化等で成果を上げていることが確認できましたが、財源や年間予算との費用対効果を分析すると、熊野町に同等の制度をすぐに導入することは難しいのではないかとこの検討結果となりました。

しかしながら、当委員会では、「空き家バンク制度」は、移住・定住促進等のさまざまな分野で効果が期待できる制度であるため、熊野町に合った「空き家バンク制度」を模索するため、今後も引き続き調査・研究課題とすることを決定しました。

主要事業の実績および計画を確認

～安全・安心な環境の整備について～

文教委員会

10月24日に文教委員会を開催し、教育部から「1学期の主要事業の実績」、「2学期の主要事業の事業計画」、「平成31年度全国学力・学習状況調査の結果」について説明を受けた後、意見交換を行いました。

1学期の主要事業の実績

- 小中学校空調設備設置工事（小学校66教室、中学校32教室に設置）
- 熊野東中学校屋外階段改修工事（老朽化した特別教室棟西側の屋外階段を改修し、避難時における経路の安全性を確保）
- 熊野町民会館エレベータ改修工事



▲ 小中学校に整備されているタブレットについて説明を受けながら実際に操作

2学期の主要事業の事業計画（抜粋）

- 小中学校ブロック塀改修工事（地震等による倒壊の可能性があるブロック塀を撤去しフェンスを設置：第一小344m、第三小94.2m、熊野中43.2m）
- 学校施設長寿命化計画策定業務（コストを平準化し適正な維持管理を行うための計画策定）
- ICT機器整備事業（小中学校へのタブレット端末及び電子黒板の整備）
- 学校体育館照明改修工事（第四小と熊野東中の水銀灯をLED化）
- 小中学校トイレ改修工事に伴う実施設計業務（子どもたちが安心して学校生活を送るための環境整備）
- 町民グラウンド改修工事（平成30年7月豪雨災害で発生した土砂等の仮置き場となっている町民グラウンドを復旧し、あわせてグラウンド勾配を調整した排水機能の確保）

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果報告

小学校では国語・算数とも全国・県平均を超え、中学校では国語・数学・英語とも概ね全国・県平均並みでした。この結果を踏まえ、正答率を分析し授業改善につなげているとの報告を受けました。

今後も子どもたちや公共施設利用者が、安全に安心して過ごすことができるよう、事業の進捗状況や計画について説明を求め、環境改善につなげるため協議・要望していきます。

今月の表紙

「熊野レンジャーズ

スポーツ少年団」

マツダZOOMZOOM

大会に出場しました

学童軟式野球・熊野レン

ジャーズです。

見逃しの三振より空振り

の三振が出来る、気力ある

チームを目指しています。

親子で同じ目標に向

かって歩めば、深い絆を築

くことができます。

その深い絆を築くための

場として利用していただ

ければと思っています。

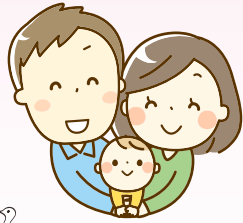
現在4年連続マツダZOOMZOOMスタジアムで試合をしており、2年連続カープジュニアを輩出しています。

君もマツダZOOMZOOMスタジアムで試合を行い、カープジュニアになりましょう。

一度気軽に見に来てください。

代表指導者 脇本 宏幸

電話 090・5371・5739



令和を生きる君たちへ



今回は令和元年7月・8月に誕生された赤ちゃんを取材し、掲載させていただきました。明るく元気に健やかに成長されるようお祈りいたします。

〔くまの・こども夢プラザ（生後5ヵ月児対象のブックスタート事業）にて〕



Q

熊野町

あったらいいな…



Q

どんな子どもにも
育ってほしい？



- A**
- ・赤ちゃんを連れていける食事処。
 - ・大型遊具がたくさんある公園。
 - ・医療費を小学校3年生まで助成してほしい。
 - ・もっと公園を増やしてほしい。
 - ・雨の日でも体をしっかり動かせる場所。
 - ・赤ちゃん和妈妈が集まれる場（こども夢プラザ）があってもうれしい。

- A**
- ・優しく好かれる子
 - ・元気にスクスク健康第一
 - ・おおらかな子
 - ・素直な子
 - ・明るい子
 - ・健やかな子

取材に協力していただいた赤ちゃんのお名前：蒼葉くん、楓くん、咲希ちゃん、つむぎちゃん、湊人くん、海斗くん、るなちゃん、怜依ちゃん、怜叶くん
取材／沖田・中島・水原

次の定例会は

3月10日(火曜日)

開会を予定しています。

議会だより題字

小田原正龍さん

表紙写真

輝け！熊野町スポーツ少年団
(熊野レンジャーズスポーツ少年団)

あ
と
が
き

地方自治・議員・議会とは、間接民主主義とは、議会制民主主義とは、改選後、今期春より遂行されているのか。

現況・熊野町、町民のより良い将来を見据え、大衆迎合主義に流されることなく、議論・邁進しなければならぬ。また内容を自己弁護することなく伝える努力を怠ってはならない。

広報では与えられた紙面に限界を感じる中、あくまでも議会を知るきっかけにさせていただきたい。

片川 学



「くまの議会だより」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。